

専門部会報告シート

部会名	地域移行部会	報告回	令和5年度第2回全体会
委員 氏名		氏名	選出母体及び役職等
	1	◎長崎 昌尚	地域生活支援センターみ～な センター長
	2	○高橋 美佳	地域生活支援センターあけぼの 所長
	3	山口 真佐子	桜美林大学 特任教授
	4	松林 宏	J P S 訪問介護ステーション 管理者
	5	瀬川 彩奈	障害者支援施設みずき サービス管理責任者 マネージャー
	6	西浦 智恵	知的障害者相談員
	7	荒畑 正子	府中市精神障害者を守る家族会 理事
	8	清水 孝子	東京都立府中療育センター 地域療育支援課 地域療育支援主任技術員
	9	原 綾子	多摩府中保健所 地域保健第一担当 課長代理
※部会長は◎、副部会長は○			
現状	<p>府中市障害者計画・障害福祉計画（第6期）では障害福祉計画に係る国の指針に基づき、障害のある人の地域生活への移行に関する成果目標を定めているが、現状での達成率は低く、地域移行支援へのさらなる取組が必要である。</p> <p>まずは地域移行支援対象者にアンケート調査を実施し当事者のニーズを含めた実態把握が必要である。</p>		
検討 テーマ (概要)	「府中市に暮らす人が住み慣れたまち（府中市）で安心して暮らすことができる地域社会」を目指す。		
取組 経過	<p>【令和5年度の取組】</p> <p>○身体障害・知的障害の入所施設者へアンケートを実施し、入所施設を出たいと思っている人を明らかにすることで、当事者のニーズを含めた実態調査を行う。</p> <p>○精神科病院の長期入院者に対し、退院支援に関するアンケートを実施し、当事者や病院へのアプローチを図る。</p> <p>○制度上の課題や地域課題の吸い上げを目的に、地域移行支援を実施している事業所を対象とした座談会を実施する。</p>		
検討 結果	<p>1 地域移行に関するアンケートについて</p> <p>(1) 身体・知的の入所施設へのアンケートを実施する。府中市が援護元となっている全国82施設、164名が対象。（参考4）</p> <p>ア 入所施設を出たいと思っている人を明らかにする。</p> <p>イ 意思決定が難しい人は意思決定ガイドライン等を参考にしてもらう。</p> <p>ウ 回答時に支援する人が地域移行について理解できているかによって回答が変わってしまう課題がある。</p>		

(2) 精神科病院に長期入院中の府中市民に対して退院支援に関するアンケートを実施する。(参考5)

ア 市の担当部署もどの病院に誰が長期入院しているかの把握はできていない。アンケートを実施するためには病院に協力してもらわなければ難しい。病院を通じて対象者にアプローチするため、まずは病院へのアプローチを進めていく必要がある。

イ 市外の病院に関しては近隣で市民が入院していそうな病院にアプローチをしていくしかない。近隣の自治体でもそうしている。

ウ 生活保護の情報を元にどの病院に何人入院しているか把握できるとよいが担当部署からは情報の目的外利用とされ実現できていない。

2 地域移行支援を実施している事業所を対象とした座談会の実施について

(1) 制度上の課題や地域課題の吸い上げを目的に相談支援事業所や訪問看護事業所を招き座談会実施を検討することとした。

3 地域移行に関する課題

(1) 地域に社会資源がないため、入所施設を探すケースが増えている実態がある。

(2) 入所施設は入所したらそのままになってしまう。入所施設側でピアサポートや体験の場を検討しながら、入所施設を出て生活がしたいという気持ちになるよう支援をすることが大切である。

(3) 精神障害者の地域移行について、受け入れる側の理解は不可欠であり今後の地域包括ケアシステムをどのようにつくっていくかは課題。

会議開催状況と内容		日程	内容
	第1回	6月23日	○身体・知的の入所施設への事務局アンケート案について協議した。 ○地域移行のための課題について協議した。
	第2回	7月6日	○身体・知的の入所施設へのアンケート設問について協議した。
	第3回	8月7日	○精神障害の方への退院支援に関する事務局アンケート案について協議し修正を行った。 ○地域移行支援を実施している事業所を対象とした座談会の実施について協議した。
	第4回	10月20日 (予定)	○座談会について
	第5回	未定	未定
	第6回	未定	未定